

平成26年9月12日

平成26年度 第1回学校関係者評価書

南アルプス市立若草小学校
校長 森田 亨

〔会議日時〕 平成26年9月5日（金）午後7時30分～午後9時

〔会議場所〕 若草小学校 校長室

〔出席者〕

・学校関係者評価委員7名

小池 清治さん（十日市場区自治会長） 信田 一信さん（加賀美区自治会長）
荻野 一男さん（寺部区自治会長） 志村 郁造さん（下今井区自治会長）
塚原 久美子さん（主任児童委員、学校評議員）
齊藤 秀さん（PTA会長、学校評議員） 折居 弘美さん（PTA副会長、学校評議員）

・学校側3名

森田 亨（校長） 横小路 豊（教頭） 時田 直人（主幹教諭）

1 学校からの説明事項

第1回学校評価、各アンケートの集計結果について

- ①児童アンケート内容及び集計結果・考察・改善策について
- ②保護者アンケート内容及び集計結果・考察・改善策について
- ③教職員アンケート内容及び集計結果・考察・改善策について

2 意見交換

（1）学校評価の方法について

学校関係者評価委員より、学校関係者評価委員の仕事内容、学校評価の方法について質問や意見をいただいた。

主な意見は、次のようなものである。

- ①あらかじめ内容を知るために、資料は会議の場ではなく、数日前には渡してほしい。
- ②前年度の学校評価の結果や改善策についての説明、それを踏まえての今年度の目標設定状況について説明を入れてほしい。
- ③1学期の早い時期に第1回目の学校関係者評価委員会を開き、そこで委嘱状をもらい、上記②について説明をもらえるようにしてほしい。
- ④アンケートの集計結果について、前年度との比較や経年変化がわかるような資料も入れて、若草小学校の今年度のようなすが、より正確にわかるような工夫をしてほしい。
- ⑤保護者のアンケート回答の対象が、PTAの役員だけになっているが、すべての保護者の意見が集約できるように、対象を全保護者にする必要がある。
- ⑥教職員アンケートの記述式回答についても、どのような意見が出ているか分かるように、資料に入れる必要がある。

⑦教職員の自己評価が全体に甘い傾向があると思うので、評価方法の工夫が望まれる。

まとめると、前年度までの方法を踏襲するのではなく、学校評価の方法について改善をおこなっていくことが必要であるという意見をいただいた。

(2) 教育活動について

教育活動については、学校関係者評価委員より、次のような質問をいただき、学校側から回答をした。

①TT授業は何年生のどの教科で行っているか。授業参観で来た時に、TT授業を見ることがなかったのだが。

回答：高学年を中心に算数や国語を中心におこなっている。TTとして授業に関わる教員の数は限られているため、いつもすべての学級でTTがおこなえるわけではない。高学年を中心に各学級に一週数時間のTT授業をおこなっているが、教員の数を増やすことも行政にお願いしていきたい。

②個に応じた指導として、具体的にどのような指導をおこなっているのか。

回答：授業中に児童のようすに合わせて助言をしたり、休み時間や放課後に教室で学習指導をおこなったりしている。また、夏季休業中には1学期の復習として個別の学習指導をおこなった。

③いじめについて、「現状では問題はない」ということだが、心配はないのか。

回答：いじめについての実態把握のアンケート調査を児童におこなって、ようすを調べている。子どもどうしのもめごとが起きた時、けんかのような方法で解決しようとする場面はあるが、いじめのような心配になる状況は起きていない。

平成26年度第1回学校関係者評価委員会では、以上のような意見・質問をいただいた。貴重な意見をもとに、本校の課題改善に向けて、職員一同力を合わせて頑張っていきたい。